

## 特別支援教育校内研修会 「インシデント・プロセス法による事例検討会」

平成30年8月27日(月)15:00～本校会議室にて、特別支援教育委員会主催の校内研修会を開催しました。今回は「インシデント・プロセス法(※)による事例検討会」で、講師は本校 西澤朋実 教諭。

職員のほとんどが初めての検討会であったため最初は戸惑いもありましたが、検討を進めていくうちに活発な議論となっていました。

### (※)インシデント・プロセス法

マサチューセッツ工科大学のピコズ教授が提唱した事例研究法の一つで、発表者の短い象徴的な出来事(インシデント)をもとに、参加者が発表者に質問することによって、その出来事の背景や原因に関する情報を収集し、それに基づいて問題を分析し、対策を考える手法。

メリットは、①参加者一人一人が発表者の立場でなく、問題解決の当事者の立場で考えられるので、主体的、積極的な研修ができる、②実際の教育相談活動の場において発生した問題を、参加者が共有体験を通して解決できる、③事例の資料が短くてすむので、発表者の負担が少なく誰でも引き受けることができる、などのメリットがある。



検討会の進め方について、西澤教諭から説明。



進め方:事例提示 4分→質問の準備 10分→質疑応答 10分→支援策を考える 13分→支援策の発表 10分



具体的な支援策を、付箋を使用して考えている様子



最後に支援策を発表し、情報共有を行いました。